



F コマンド

この章では、F で始まる Cisco Nexus 1000V コマンドについて説明します。

feature dhcp

DHCP 機能をグローバルにイネーブルにするには、**feature dhcp** コマンドを使用します。DHCP をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature dhcp

no feature dhcp

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)SV1(4)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

例

次に、DHCP をグローバルにイネーブルにする例を示します。

```
n1000v# configure terminal
n1000v(config)# feature dhcp
n1000v(config)#
```

次に、DHCP をグローバルにディセーブルにする例を示します。

```
n1000v# configure terminal
n1000v(config)# no feature dhcp
n1000v(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show feature	DHCP などの使用可能な機能と、それらがイネーブルかどうかを表示します。
ip dhcp snooping trust	インターフェイスを、DHCP メッセージの信頼できる送信元として設定します。
ip dhcp snooping vlan	特定の VLAN 上で DHCP スヌーピングをイネーブルにします。
show ip dhcp snooping	DHCP スヌーピングに関する一般的な情報を表示します。

feature http-server

HTTP サーバをイネーブルにするには、**feature http-server** コマンドを使用します。HTTP サーバをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature http-server

no feature http-server

構文の説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト イネーブル

コマンドモード グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.2(1)SV1(4)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

- HTTP サーバがディセーブルの場合、VUM は VEM をインストールしません。
- VSM から Cisco Nexus 1000V XML プラグインを取得するには、HTTP サーバをイネーブルにする必要があります。

例 次に、HTTP サーバをイネーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# feature http-server
```

次に、HTTP サーバをディセーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# no feature http-server
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show http-server	HTTP サーバの設定を表示します。
	show feature	LACP などの使用可能な機能と、それらがイネーブルかどうかを表示します。

feature lacp

ポート チャネルの LACP のサポートをイネーブルにするには、**feature lacp** コマンドを使用します。CDP をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature lacp

no feature lacp

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)SV1(4)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

feature lacp コマンドを使用して LACP をまずイネーブルにしないと、ポート チャネルの LACP を設定できません。

例

次に、ポート チャネルの LACP をオンにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# feature lacp
```

次に、ポート チャネルの LACP をオフにする例を示します。

```
n1000v(config)# no feature lacp
```

関連コマンド

コマンド	説明
show feature	使用可能な機能、およびそれらがイネーブルかどうかを表示します。
show port-channel summary	ポート チャネル インターフェイスの概要を表示します。
interface	インターフェイスを設定します。
channel-group	インターフェイスのチャンネル グループを設定します。
port-profile	ポート プロファイルを設定します。

コマンド	説明
channel-group auto	ポート プロファイルのチャンネル グループを設定します。
lacp offload	VSM から VEM に LACP 管理をオフロードします。

feature http-server

HTTP サーバをイネーブルにするには、**feature http-server** コマンドを使用します。HTTP サーバをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature http-server

no feature http-server

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

イネーブル

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)SV1(4)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

- HTTP サーバがディセーブルの場合、VUM は VEM をインストールしません。
- VSM から Cisco Nexus 1000V XML プラグインを取得するには、HTTP サーバをイネーブルにする必要があります。

例

次に、HTTP サーバをイネーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# feature http-server
```

次に、HTTP サーバをディセーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# no feature http-server
```

関連コマンド

コマンド	説明
show http-server	HTTP サーバの設定を表示します。
show feature	LACP などの使用可能な機能と、それらがイネーブルかどうかを表示します。

feature netflow

NetFlow をイネーブルにするには、**feature netflow** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature netflow

no feature netflow

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

ディセーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)SV1(4)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

- NetFlow は追加メモリと CPU リソースを消費するため、リソース要件に注意する必要があります。
- メモリと CPU リソースは、フロー モニタ インターフェイスをホスティングする VEM が提供します。リソースは VEM 上の CPU コアの数によって、制限されています。

例

次に、NetFlow をイネーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# feature netflow
```

次に、NetFlow をディセーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# no feature netflow
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ssh server	SSH サーバの設定を表示します。
flow record	NetFlow フロー レコードを作成します。
flow exporter	NetFlow フロー エクスポートを作成します。
flow monitor	NetFlow フロー モニタを作成します。
show flow record	NetFlow のフロー レコード情報を表示します。

コマンド	説明
show flow exporter	NetFlow フロー エクスポート情報を表示します。
show flow monitor	NetFlow フロー モニタに関する情報を表示します。

feature network-segmentation-manager

Network Segmentation Manager 機能をイネーブルにするには、**feature network-segmentation-manager** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature network-segmentation-manager

no feature network-segmentation-manager

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

ディセーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)SV1(5.1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

例

次に、Network Segmentation Manager 機能をイネーブルにする例を示します。

```
n1000v# configure terminal
n1000v(config)# feature network-segmentation-manager
n1000v(config)#
```

次に、Network Segmentation Manager 機能をディセーブルにする例を示します。

```
n1000v# configure terminal
n1000v(config)# no feature network-segmentation-manager
n1000v(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show network-segment manager switch	NSM で設定された Cisco Nexus 1000V を表示します。
network-segment policy	ネットワーク セグメンテーション ポリシーを作成します。
show run network-segment policy	ネットワーク セグメンテーション ポリシー設定を表示します。

feature port-profile-roles

ユーザおよびグループ アクセスを制限するためのポート プロファイルのロールをイネーブルにするには、**feature port-profile-roles** コマンドを使用します。CDP をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature port-profile-roles

no feature port-profile-roles

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

ディセーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)SV1(4)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ポート プロファイルのロール機能がディセーブルの場合、vCenter のすべてのユーザのポート グループへのアクセスが失われます。

例

次に、特定のポート グループに対する可視性を制限するポート プロファイルのロール機能をイネーブルにする例を示します。

```
n1000v(config)# feature port-profile-roles
n1000v(config)#
```

次に、ポート プロファイルのロール機能をディセーブルにする例を示します。

```
n1000v(config)# no feature port-profile-roles
n1000v(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show port-profile-role	ロール名、説明、割り当てられたユーザ、および割り当てられたグループなど、ポート プロファイルのロール設定を表示します。
show port-profile-role users	使用可能なユーザおよびグループを表示します。
show port-profile	ポート プロファイルに割り当てられたロールを含むポート プロファイル設定を表示します。

コマンド	説明
show feature	LACP やポート プロファイルのロールなどの使用可能な機能、およびそれらがイネーブルかどうかを表示します。
port-profile-role	ポート プロファイルのロールを作成します。
user	ポート プロファイルのロールにユーザを割り当てます。
group	ポート プロファイルのロールにグループを割り当てます。
assign port-profile-role	特定のポート プロファイルにポート プロファイルのロールを割り当てます。
feature port-profile-role	ポート プロファイルのロールの制限のサポートをイネーブルにします。

feature private-vlan

プライベート VLAN 機能をイネーブルにするには、**feature private-vlan** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature private-vlan

no feature private-vlan

構文の説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト ディセーブル

コマンドモード グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.2(1)SV1(4)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

- NetFlow は追加メモリと CPU リソースを消費するため、リソース要件に注意する必要があります。
- メモリと CPU リソースは、フロー モニタ インターフェイスをホスティングする VEM が提供します。リソースは VEM 上の CPU コアの数によって、制限されています。

例 次に、プライベート VLAN 機能をイネーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# feature private-vlan
```

次に、プライベート VLAN 機能をディセーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# no feature private-vlan
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show vlan private-vlan	プライベート VLAN の設定を表示します。
	private-vlan	VLAN をプライベート VLAN として設定します。

feature segmentation

VXLAN 機能をイネーブルにするには、**feature segmentation** コマンドを使用します。VXLAN 機能をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature segmentation

no feature segmentation

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

ディセーブル

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)SV1(5.1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

例

次に、VXLAN 機能をイネーブルにする例を示します。

```
n1000v# configure terminal
n1000V(config)# feature segmentation
n1000v(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show feature	使用可能な機能、およびそれらがイネーブルかどうかを表示します。

feature ssh

セキュア シェル (SSH) サーバをイネーブルにするには、**feature ssh** コマンドを使用します。サーバをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature ssh

no feature ssh

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

イネーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)SV1(4)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

- SSH をイネーブルにする前に、レイヤ 3 インターフェイス上に IP、mgmt 0 インターフェイス上にアウトオブバンド、またはイーサネット インターフェイス上にインバンドを設定する必要があります。

例

次に、SSH サーバをイネーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# feature ssh
```

次に、SSH サーバをディセーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# no feature ssh
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ssh server	SSH サーバの設定を表示します。
ssh key	SSH サーバ キーを生成します。
ssh	SSH サーバ セッションを作成して開始します。
show feature	SSH サーバなどの使用可能な機能と、それらがイネーブルかどうかを表示します。

feature tacacs+

TACACS+ サーバをイネーブルにするには、**feature tacacs+** コマンドを使用します。サーバをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature tacacs+

no feature tacacs+

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

ディセーブル

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)SV1(4)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

例

次に、TACACS+ をイネーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# feature tacacs+
```

次に、TACACS+ をディセーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# no feature tacacs+
```

関連コマンド

コマンド	説明
tacacs-server key	Cisco Nexus 1000V と TACACS+ サーバ ホストの間で共有されるグローバル キーを指定します。
tacacs-server host	Cisco Nexus 1000V とこの特定の TACACS+ サーバ ホストの間で共有されるキーを指定します。
show tacacs-server	TACACS+ サーバの設定を表示します。
show feature	TACACS+ などの使用可能な機能と、それらがイネーブルかどうかを表示します。

feature telnet

Telnet サーバをイネーブルにするには、**feature telnet** コマンドを使用します。Telnet サーバをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature telnet

no feature telnet

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

イネーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)SV1(4)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

- Telnet をイネーブルにする前に、レイヤ 3 インターフェイス上に IP、mgmt 0 インターフェイス上にアウトオブバンド、またはイーサネット インターフェイス上にインバンドを設定する必要があります。

例

次に、Telnet サーバをイネーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# feature telnet
```

次に、Telnet サーバをディセーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# no feature telnet
```

関連コマンド

コマンド	説明
show telnet server	Telnet サーバの設定を表示します。
telnet	Telnet セッションを作成して設定します。
show feature	Telnet サーバなどの使用可能な機能と、それらがイネーブルかどうかを表示します。

filter vlan

指定されたスイッチド ポート アナライザ (SPAN) セッションの送信元 VLAN からフィルタを設定するには、**filter vlan** コマンドを使用します。フィルタを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

filter vlan {*number* | *range*}

no filter vlan {*number* | *range*}

構文の説明

<i>number</i>	このフィルタに関連付けられた VLAN の数。
<i>range</i>	このフィルタに関連付けられた VLAN の範囲。

デフォルト

なし

コマンドモード

CLI モニタ コンフィギュレーション (config-monitor)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、VLAN ID (3、4、5、および7) のフィルタを設定する例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# monitor session 3
n1000v(config-monitor)# filter vlan 3-5, 7
n1000v(config-monitor)#
```

次に、VLAN ID 7 のフィルタを削除する例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# monitor session 3
n1000v(config-monitor)# no filter vlan 7
n1000v(config-monitor)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
monitor session	任意のセッション番号でセッションを作成して、CLI モニタ コンフィギュレーション モードに切り替え、セッションを更に設定します。
description	指定された SPAN セッションの場合は、説明を追加します。
source	指定されたセッションの場合は、監視するトラフィックの送信元と方向を設定します。

コマンド	説明
destination interface	コピーされたソース パケットの宛先として機能するように、指定されたセッションにポートを設定します。
no shut	SPAN セッションをイネーブルにします。
interface ethernet	指定されたインターフェイスの CLI インターフェイス コンフィギュレーション モードに切り替えます。
switchport trunk allowed vlan	指定されたインターフェイスの場合は、インターフェイスで許可する VLAN の範囲を設定します。
show interface ethernet	選択したスロットおよびポートまたはポート範囲に対応するインターフェイス トランキング設定を表示します。

find

特定の文字列で始まるファイル名を検索するには、**find** コマンドを使用します。

find filename-prefix

構文の説明	<i>filename-prefix</i>	ファイル名の最初の部分または全体。ファイル名プレフィックスでは、大文字と小文字が区別されます。
-------	------------------------	---

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	任意
---------	----

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者
---------------	-----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン **find** コマンドを使用すると、現在の作業ディレクトリの下にあるサブディレクトリがすべて検索されます。**cd** および **pwd** コマンドを使用して、最初に検索するディレクトリに移動することができます。

例 次に、ospf で始まるファイル名を表示する例を示します。

```
n1000v# find ospf
/usr/bin/find: ./lost+found: Permission denied
./ospf-gr.cfg
./ospfgrconfig
./ospf-gr.conf
```

関連コマンド	コマンド	説明
	cd	現在の作業ディレクトリを変更します。
	pwd	現在の作業ディレクトリ名を表示します。

flow exporter

フロー レコードを NetFlow コレクタ サーバにエクスポートする際の場所と方法を定義する Flexible NetFlow フロー エクスポートを作成または変更するには、**flow exporter** コマンドを使用します。フロー エクスポートを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

flow exporter *exporter-name*

no flow exporter *exporter-name*

構文の説明

exporter-name 作成または変更するフロー エクスポートの名前。

デフォルト

フロー エクスポートは、作成するまでコンフィギュレーション内には存在しません。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、FLOW-EXPORTER-1 を作成して設定する例を示します。

```
n1000v(config)# flow exporter FLOW-EXPORTER-1
n1000v(config-flow-exporter)# description located in Pahrump, NV
n1000v(config-flow-exporter)# destination A.B.C.D
n1000v(config-flow-monitor)# dscp 32
n1000v(config-flow-monitor)# source mgmt0
n1000v(config-flow-monitor)# transport udp 59
n1000v(config-flow-monitor)# version 9
```

次に、FLOW-EXPORTER-1 を削除する例を示します。

```
n1000v(config)# no flow exporter FLOW-EXPORTER-1
n1000v(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear flow exporter	フロー モニタをクリアします。
show flow exporter	フロー モニタのステータスと統計情報を表示します。
description	フロー レコード、フロー モニタ、またはフロー エクスポートに説明を追加します。
destination	宛先 IP アドレスを NetFlow フロー エクスポートに追加します。

コマンド	説明
dscp	Differentiated Services Codepoint (DSCP; DiffServ コード ポイント) をフロー エクスポートに追加します。
source mgmt	NetFlow フロー レコードのソースとして指定される管理インターフェイスをフロー エクスポートに追加します。
transport udp	NetFlow コレクタへの到達に使用される宛先 UDP ポートをフロー エクスポートに追加します。
version 9	NetFlow エクスポートの NetFlow エクスポートのバージョンが 9 であることを指定します。

flow monitor

Flexible NetFlow フロー モニタを作成するか、または既存の Flexible NetFlow フロー モニタを修正し、Flexible NetFlow フロー モニタ コンフィギュレーション モードを開始するには、**flow monitor** コマンドを使用します。Flexible NetFlow フロー モニタを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

flow monitor *monitor-name*

no flow monitor *monitor-name*

構文の説明

monitor-name 作成または変更するフロー モニタの名前。

デフォルト

フロー モニタは、作成するまでコンフィギュレーション内には存在しません。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

フロー モニタは Flexible NetFlow のネットワーク トラフィックの監視を実行するコンポーネントで、インターフェイスに適用されます。フロー モニタは、フロー モニタを作成した後で追加するレコードと、フロー モニタを最初のインターフェイスに適用した時点で自動的に作成されるキャッシュで構成されます。フロー データは、フロー モニタに対して設定されているレコードのキー フィールドおよび非キー フィールドに基づいてモニタリング プロセスの間にネットワーク トラフィックから収集され、フロー モニタ キャッシュに格納されます。

フロー モニタ コンフィギュレーション モードに入ると、プロンプトが次のようになります。

```
n1000v(config-flow-monitor)#
```

フロー モニタ コンフィギュレーション モード内では、フロー モニタを設定する次のキーワードと引数を使用できます。

- **cache** : キャッシュ サイズを指定します。指定できる範囲は 256 ~ 16384 エントリです。
- **description** *description* : このフロー モニタの説明 (63 文字以下) を指定します。
- **exit** : 現在のコンフィギュレーション モードを終了します。
- **exporter name** : レコードをエクスポートするエクスポートの名前を指定します。
- **no** : コマンドを無効にするか、デフォルト設定にします。
- **record** {*record-name* | **netflow ipv4 collection-type** | **netflow-original**} : 使用するフロー レコードを次のように指定します。

- *record-name* : レコード名。
- **netflow ipv4 collection-type** : 従来の IPv4 NetFlow 収集スキームを次のように指定します。
 - original-input** : 従来の IPv4 入力 NetFlow を指定します。
 - original-output** : 従来の IPv4 出力 NetFlow を指定します。
 - protocol-port** : プロトコルおよびポート集約方式を指定します。
- **netflow-original** : 起点自律システムにおける従来の IPv4 入力 NetFlow を指定します。
- **timeout {active | inactive}** : 次に示すように、フロー タイムアウト期間を指定します。
 - **active** : 60 ~ 4092 秒の範囲で、アクティブまたはロング タイムアウトを指定します。
 - **inactive** : 15 ~ 4092 秒の範囲で、非アクティブまたは通常タイムアウトを指定します。

netflow-original キーワードと **original-input** キーワードは同じであり、次の各コマンドと等価です。

- **match ipv4 source address**
- **match ipv4 destination address**
- **match ip tos**
- **match ip protocol**
- **match transport source-port**
- **match transport destination-port**
- **match interface input**
- **collect counter bytes**
- **collect counter packet**
- **collect timestamp sys-uptime first**
- **collect timestamp sys-uptime last**
- **collect interface output**
- **collect transport tcp flags**

original-output キーワードは、以下の場合を除いて **original-input** キーワードと同じです。

- **match interface output** (**match interface input** ではない)
- **collect interface input** (**collect interface output** ではない)

例

次に、FLOW-MONITOR-1 という名前のフロー モニタを作成して設定する例を示します。

```
n1000v(config)# flow monitor FLOW-MONITOR-1
n1000v(config-flow-monitor)# description monitor location las vegas, NV
n1000v(config-flow-monitor)# exporter exporter-name1
n1000v(config-flow-monitor)# record test-record
n1000v(config-flow-monitor)# netflow ipv4 original-input
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear flow monitor	フロー モニタをクリアします。
show flow monitor	フロー モニタのステータスと統計情報を表示します。

flow record

Flexible NetFlow フロー レコードを作成するか、または既存の Flexible NetFlow フロー レコードを修正し、Flexible NetFlow フロー レコード コンフィギュレーション モードを開始するには、**flow record** コマンドを使用します。Flexible NetFlow フロー レコードを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

flow record *record-name*

no flow record *record-name*

構文の説明	<i>record-name</i>	作成または変更するフロー レコードの名前。
デフォルト	フロー レコードは、作成するまでコンフィギュレーション内には存在しません。	
コマンド モード	グローバル コンフィギュレーション (config)	
サポートされるユーザ ロール	ネットワーク管理者	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

Flexible NetFlow は、従来の NetFlow と同じようにキーおよび非キー フィールドを使用して、フローを作成し、キャッシュに格納します。Flexible NetFlow では、キー フィールドと非キー フィールドの組み合わせをレコードと呼びます。以前の NetFlow および Flexible NetFlow の両方で、ネットワークトラフィックの監視中にキャッシュ内にいつ新しいフローを作成する必要があるかを判断するための条件として、IP データグラムの **key** フィールドの値 (IP 送信元アドレスまたは宛先アドレスおよび送信元または宛先のトランスポート プロトコル ポートなど) を使用します。フローは、特定の送信元と特定の宛先間のパケット ストリームとして定義されます。NetFlow は、パケットを分析して、いずれかのキー フィールドの値が一意であることを検出すると常に新しいフローを作成します。

フロー レコード コンフィギュレーション モードに入ると、プロンプトが次のように変わります。

```
n1000v(config-flow-record)#
```

フロー レコード コンフィギュレーション モード内では、フロー レコードを設定する次のキーワードと引数を使用できます。

- **collect** : 非キー フィールドを指定します。詳細は、**collect** コマンドを参照してください。
- **description** *description* : このフロー レコードの説明 (63 文字以下) を指定します。
- **exit** : 現在のコンフィギュレーション モードを終了します。
- **match** : キー フィールドを指定します。詳細は、**match** コマンドを参照してください。
- **no** : コマンドを無効にするか、デフォルト設定にします。

フロー レコードを作成すると、デフォルトで、次の各 **match** フィールドがイネーブルになります。

- **match interface input**
- **match interface output**
- **match flow direction**

例

次に、FLOW-RECORD-1 という名前のフロー レコードを作成し、Flexible NetFlow フロー レコード コンフィギュレーション モードを開始する例を示します。

```
n1000v(config)# flow record FLOW-RECORD-1
n1000v(config-flow-record)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear flow monitor	フロー モニタをクリアします。
flow monitor	フロー モニタを作成します。
show flow monitor	フロー モニタのステータスと統計情報を表示します。

from (テーブル マップ)

QoS テーブル マップの出力フィールド値に入力フィールド値をマッピングするには、**from** コマンドを使用します。

from *source-value* **to** *dest-value*

構文の説明	<i>source-value</i>	0 ~ 63 の範囲でマップ元の値を指定します。
	<i>dest-value</i>	0 ~ 63 の範囲でマップ先の値を指定します。

デフォルト なし

コマンド モード テーブル マップ コンフィギュレーション (config-tmap)

サポートされるユーザ ロール ネットワーク 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、3 つのマッピング元を、対応するマッピング先と関連付ける場合の例を示します。

```
n1000v(config)# table-map cir-markdown-map
n1000v(config-tmap)# from 0 to 7
n1000v(config-tmap)# from 1 to 6
n1000v(config-tmap)# from 2 to 5
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show table-map	QoS テーブル マップを表示します。
	table-map	QoS テーブル マップを作成または変更します。

